XEAM
ELECTRIC MOBILITY

SUPER SOCO

TC

- ティーシー -

取扱説明書

Ver.03
2020 年 12 月発行

ユーザーインストラクション

ようこそ！ SUPER SOCOの世界へ。TCを正しく安全に使用する為、機能や取扱いをご紹介します。
安全を確保するため、乗る前にこのマニュアルを注意深く読み、以下の要件を順守確認してください。

❶ このマニュアルの情報を完全に理解してください。これらは関連する手順、注意事項、警告を含みます。

❷ TCの操作とトラブルシューティングを完全に理解してください。

❸ TCに貼り付けられた警告ラベル内容に十分注意してください。

❹ 許可なしに車両と部品を分解しないでください。
部品交換が必要な場合や部品を購入する場合は、MSソリューションズ問合せ先か販売店に連絡してください。

❺ このマニュアルは適切に保管してください。

このバイクについて質問がある場合は、MSソリューションズにお問い合わせください。安全で快適なライディング体験をお祈りします！

あなたとあなた以外の安全を確保するために、次の事項を必ず守ってください。

❶ 該当免許を所持しない人に車両を貸さないでください。

❷ 走行車線を守って運転してください。法定速度を守って運転してください。

❸ 運転に影響を与える可能性のある薬物を服用した後や、アルコールを飲んだり、肉体的に気分が悪いときは乗らないでください。

❹ 法律や交通規制、交通標識を順守し、周囲の状況を常に確認し、危険を積極的に回避してください。

❺ 雨や雪の場合は、制動距離が長くなります。速度を落としてください。悪天候の状態ではできるだけ運転しないようにしてください。

❻ ヘルメットなどの安全装備と、必要に応じて手袋やブーツなどの適切な保護具を着用してください。

❼ あなたとあなた以外の安全を確保するために、適切にライトを使用してください。ハイビームを継続して使用すると、対向車線側の車両や歩行者に視覚障害を引き起こし、安全な運転に影響を与えます。

❽ 乗車後はすぐに電源を切り、キーを抜いてください。あなたの家族と財産の損失を避ける為に子供が近づかない様にしてください。

❾ 毎回乗車前に点検を行い、ライト、ブレーキ、トレッド、タイヤの圧力を確認し、他の部品の緩みや異音を確認し、定期的に販売店にメンテナンスを依頼してください。

走行を開始する前に

チェックリスト

×2
リモート
コントロールユニット

×2
キー

×1
バックミラーR

×1
バックミラーL

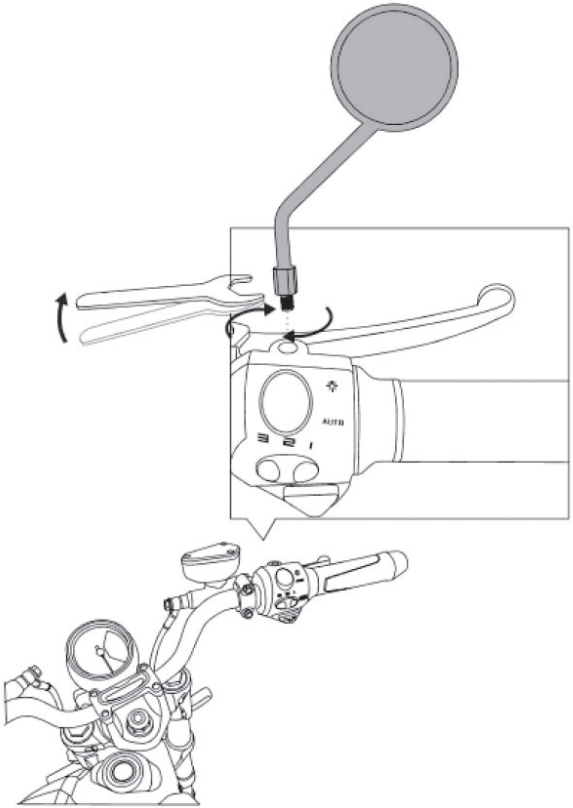
×1
充電器

×1
ユーザーマニュアル

×1
ヘキサゴンレンチ

×1
スパナ(ミラー用)

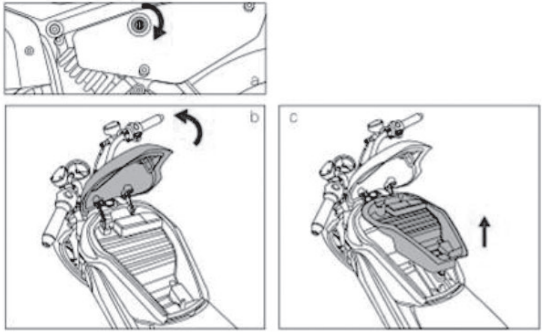
バックミラー



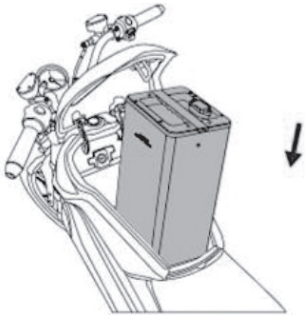
走行を開始する前に

バッテリーパックを取り付ける

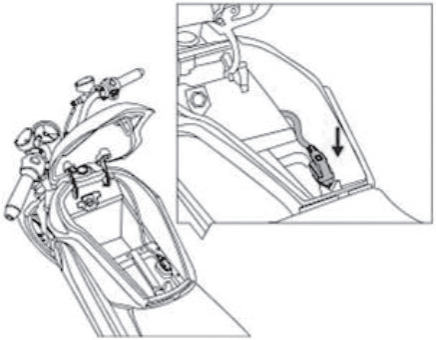
❶ メカキーを車体左側面の鍵穴に挿し右に回してストレージカバーを開き、インナーカバーを取り出す。



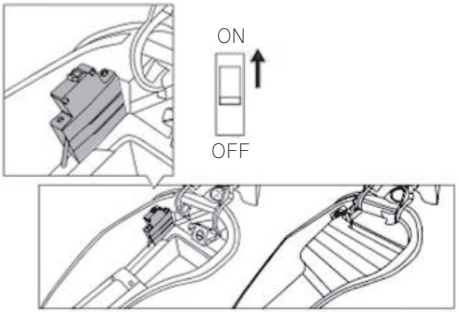
❷ サーキットブレーカーがOFFなのを確認し、充電されたバッテリーパックを車体にセットする。
(底部がロックされます)



❸ 走行用バッテリーケーブル(オレンジ)をしっかりバッテリーに差し込む。



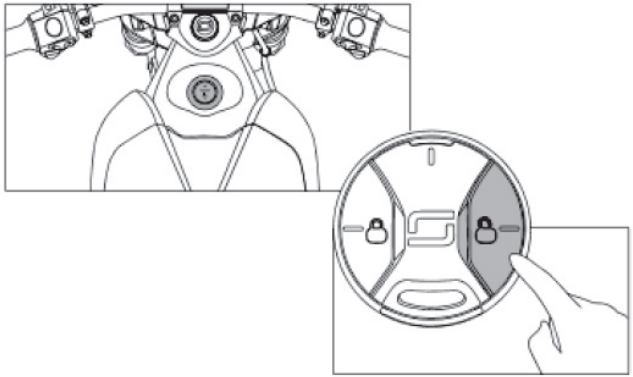
❹ サーキットブレーカーをONの位置にし、ストレージカバーを閉じる。



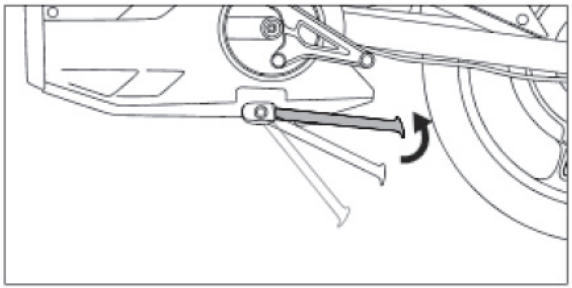
走行を開始する前に

バイクの起動

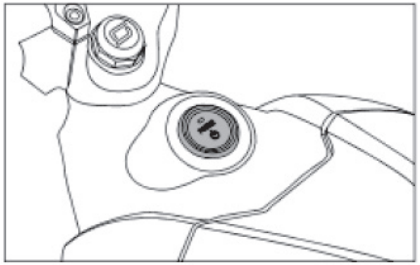
❶ リモコンでセキュリティロックを解除する。



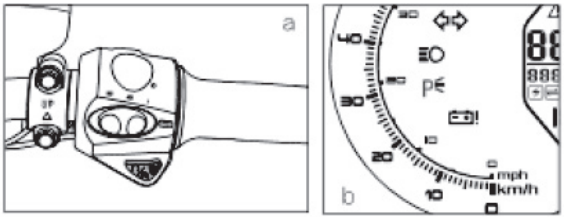
❷ ヘルメットをかぶり、TCに乗車したらサイドスタンドを上げる。



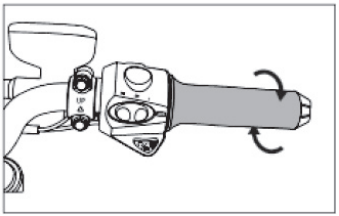
❸ 車体中央部のパワーボタンを押し電源をONにする。



❹ メーター内の表示が “P"マークのままの場合、“パーキング” ボタンを押して解除します。

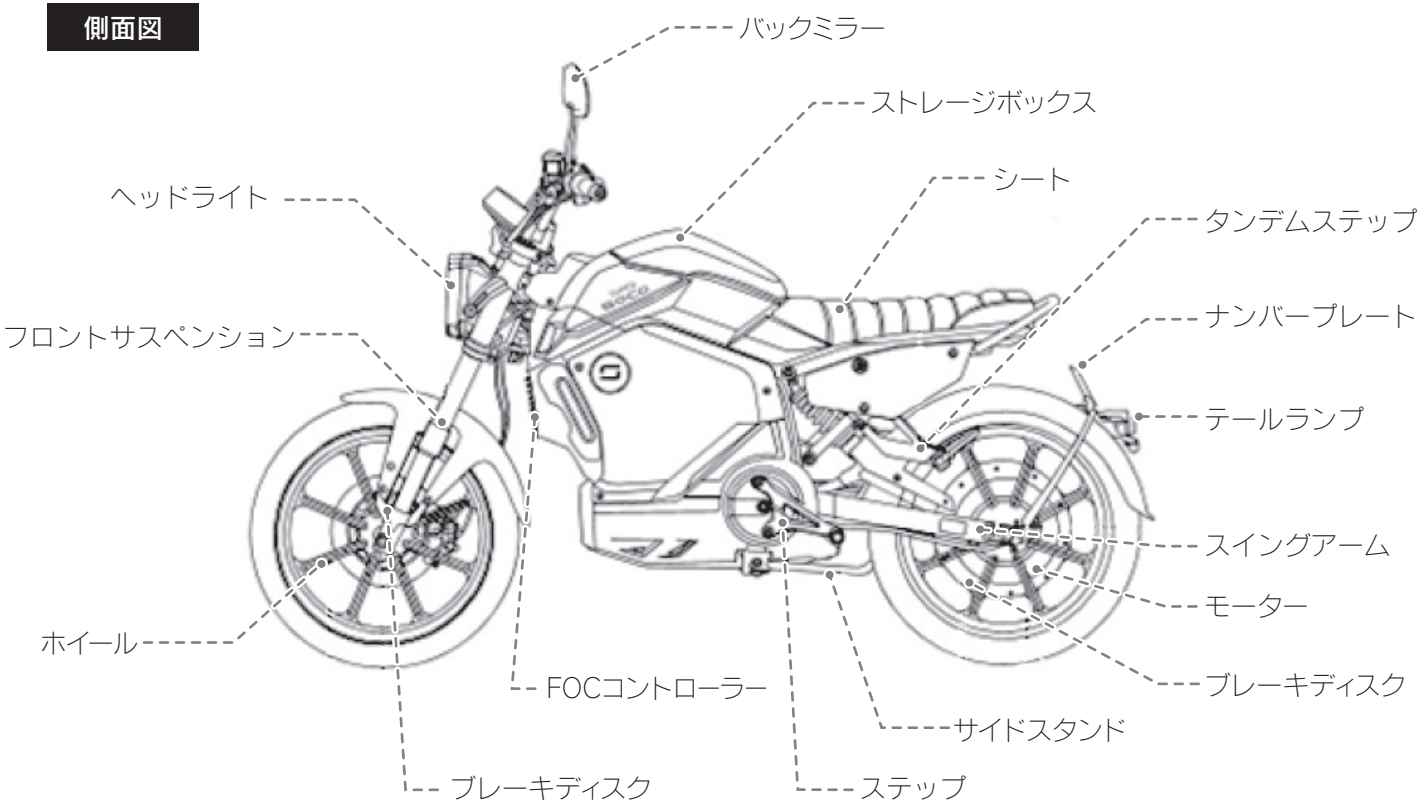


❺ アクセルを回すと走行します。



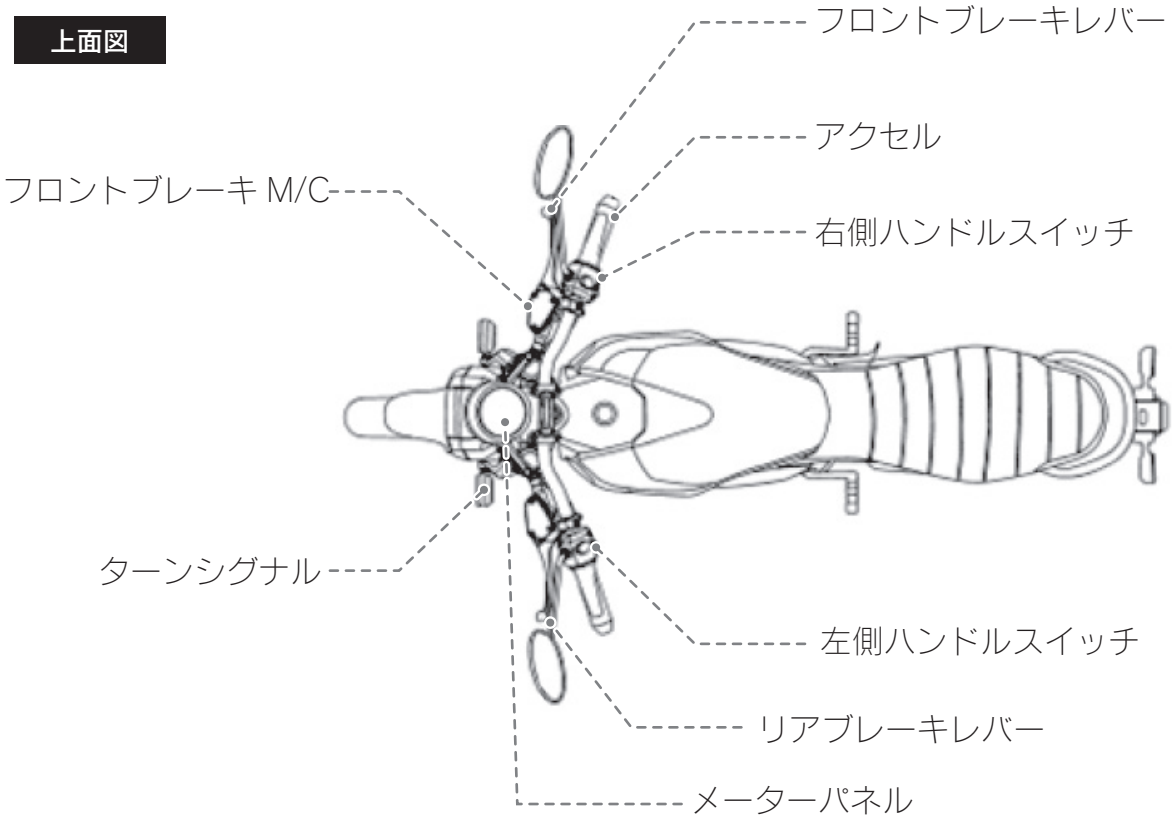
コンポーネントとパーツの説明

説明図



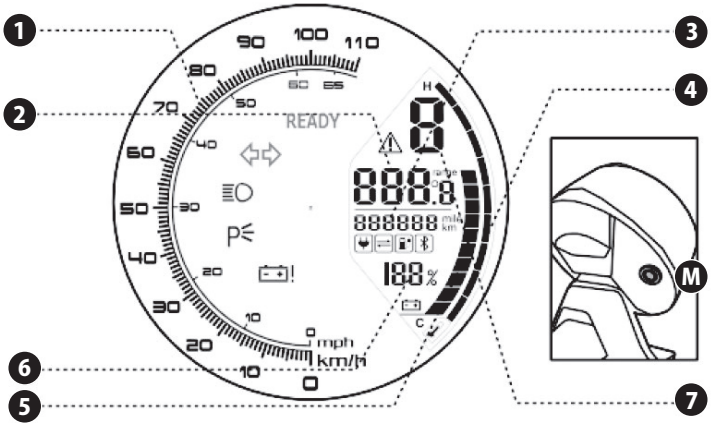
コンポーネントとパーツの説明

説明図



コンポーネントとパーツの説明

スピードメーター内表示



❶ 速度表示

❷ 走行可能距離 &外気温表示
※Mボタンで表示切替可

❸ 総走行距離
※Mボタンで表示切替可

❹ コントローラー温度表示
C(低温)→H(高温)となり、最大表示以下で使用下さい。

❺ バッテリー残量表示バー

❻ バッテリー残量表示

Ⓜ Mボタン操作説明

電源ON後にMボタンを操作すると下記の様に変更できます。

・走行可能距離/外気温<左図②>
Mボタンを押す毎に表示が切り替わります。
※走行可能距離は走行モードを切り替えると距離も変動します。

・スピードメーターのバックライト
Mボタンを3秒以上押すとメーターのバックライトが点灯します。

・km/mile<左図③>
Mボタンを8秒以上押すとkm→mile表示に切り替わります。
Km表示に戻すには再びMボタンを8秒以上押します。

●表示内容は記憶され、次回電源ONの際、同じ表示となります。

❼ 走行モード表示

スポーツ　ノーマル　エコ

その他のメーター内表示

充電中　READY バイク搭乗準備完了

ハイビーム時点灯

ターンシグナル作動時点滅

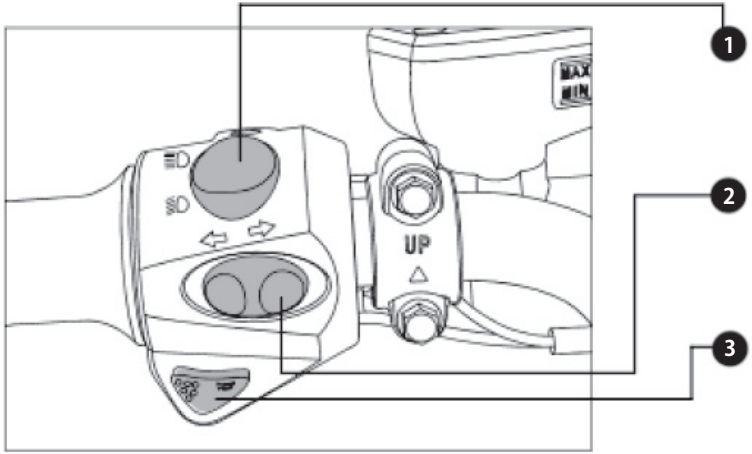
車両に異常発生時点灯

バッテリーエラー発生時点灯

・サイドスタンド未収納時点灯
・パーキングスイッチ作動時点灯

操作ガイド

左側ハンドルスイッチ



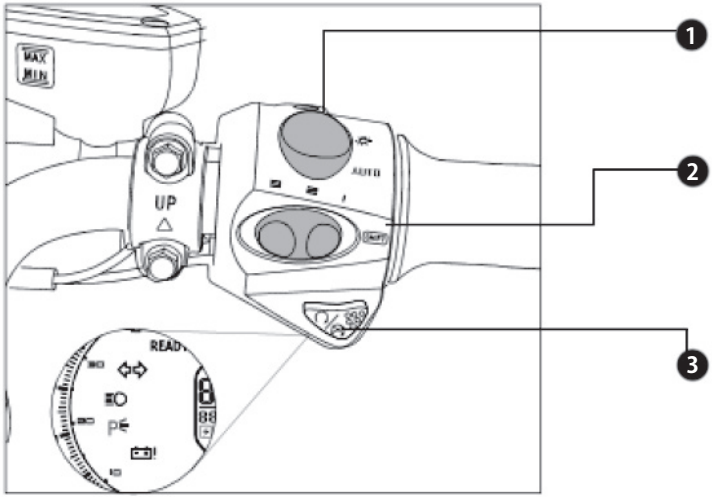
❶ ハイビーム / ロービーム切替スイッチ
上に押すとハイビーム (≡D)
下に押すとロービーム (≡D)

❷ ターンシグナルスイッチ
左へ操作すると左側、右へ操作すると右側のターンシグナルが点灯します。
消灯する場合は中央に戻します。

❸ ホーンボタン
押すとホーンが鳴ります。

操作ガイド

右側ハンドルスイッチ



❶ ダミーボタン
車両の操作には関係ありません

❷ スピードモード変更スイッチ
1: エコモード
2: ノーマルモード
3: スポーツモード

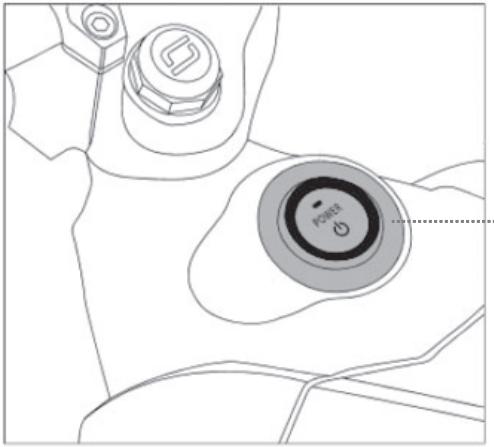
❸ パーキングボタン
押すとメーター内に“P”マークが点灯し、パーキングモードとなります。さらにもう一度押すと”P”マークが消灯し”READY"ランプが点灯し走行可能になります。

※低速側への切り替えは、停車時かそれぞれのモードで出せる速度以下になってから操作してください。
スピードが高いまま操作すると、車両の破損もしくは転倒など重大な事故に繋がる可能性があります。

操作ガイド

スタートボタン

リモートコントローラーのアンロックボタンでオートバイのロックを解除した後、スタートボタンを押すと、オートバイは起動状態になります。もう一度押すと、電源が切れます。
電源を切るとセキュリティが入り、オートバイはロック状態となります。



中央の文字が点滅：プロテクト

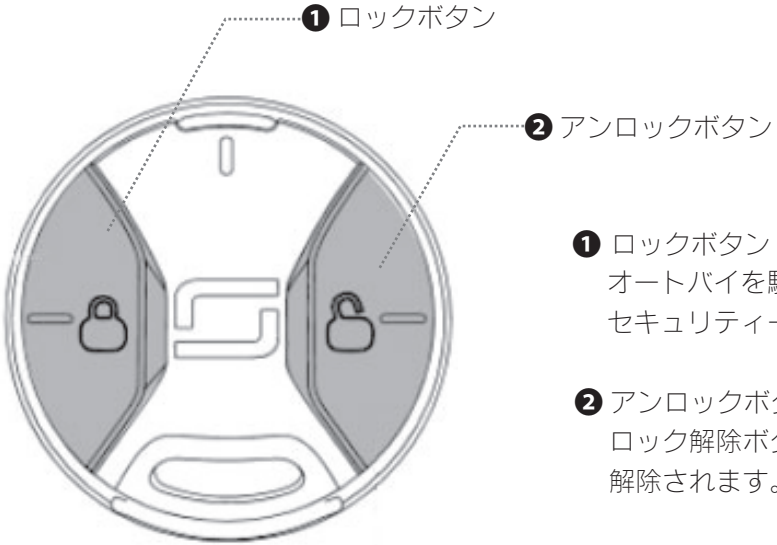
中央の文字が点灯：スタンバイ

アウターリング点灯：パワーオン

操作ガイド

リモートコントロールユニット

簡単な操作でセキュリテイのロック (作動)/ アンロック (解除) が出来ます。
有効距離は 50m(条件により異なる) です。



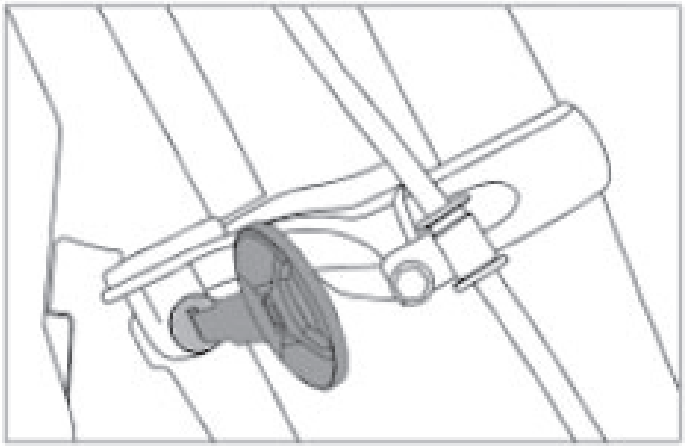
❶ ロックボタン
オートバイを駐車状態でロックボタンを押すと
セキュリティーが作動します。

❷ アンロックボタン
ロック解除ボタンを押すとオートバイのセキュリティーが
解除されます。

ハンドルバーロック

❶ ロック

❷ ロック解除

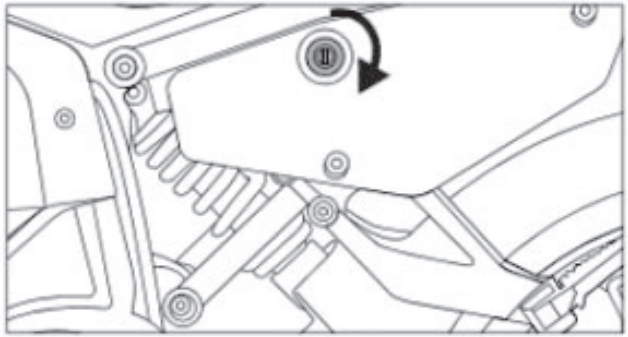


❶ オートバイを停車しハンドルを左に切ります。
キーをハンドルロックに挿し、右に回してハンドルをロックします。

❷ キーをハンドルロックに挿し、左に回してオートバイのハンドルロックを解除します。

操作ガイド

ストレージ&シート



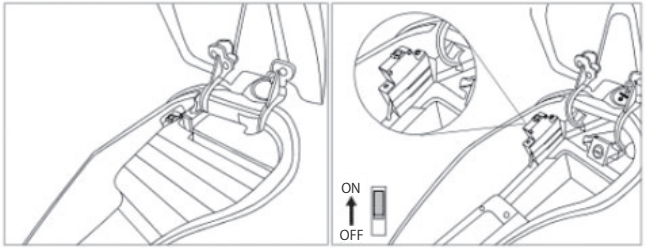
❶ キーを車体左側面のキーホールに挿し右に回し「カチッ」という音が聞こえたら
ストレージが開きます。

❷ キーを左に回しシートを外すと、シートの裏に六角レンチが収納されています。

操作ガイド

サーキットブレーカー

サーキットブレーカー、電源の保護、異常な状況や短絡 (ショート) により設定範囲を超える電流が発生した場合、サーキットブレーカーはバッテリーとの接続を自動的に遮断します。



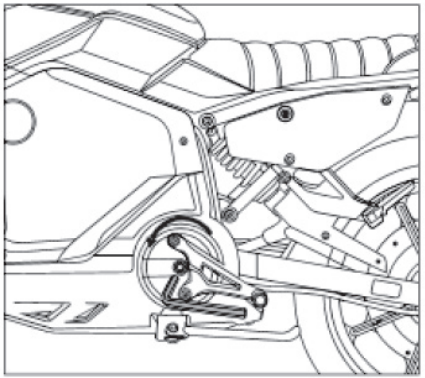
安全の為、以下の場合はサーキットブレーカーを OFF にしてください。
・オートバイを清掃するとき。
・オートバイを長期保管するとき。
・バッテリーケーブルを抜く前。

サーキットブレーカー作動後は手動で ON 位置に戻すことで復帰可能です。

アジャスタブルペダルの操作

アジャスタブルペダルは、3つのライディングモードが選択できます。

❶シート下のレンチを取り出します。
❷ペダル下のボルトを緩めます。
❸ペダルを適切な位置に合わせボルトを締め付けます。



操作ガイド

乗車前のチェックリスト

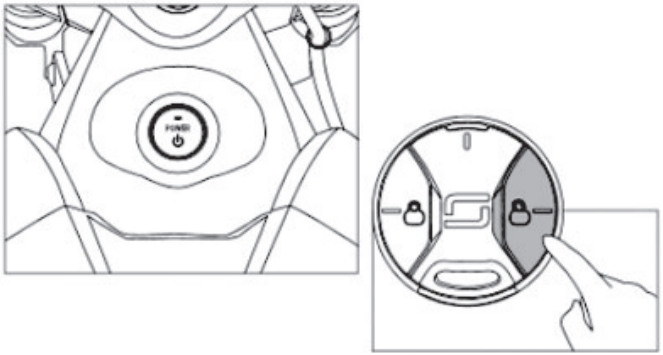
TC に乗る前に以下の項目を確認してください

- ハンドルがしっかり固定され、左右に転舵してもスムーズに動くこと。
- 左右のハンドルバーのスイッチ類が正しく機能するかどうか。
- スロットルが正しく機能するかどうか。
- タイヤの空気圧に問題がないことを確認してください。
  規程空気圧は、1 名乗車…(前)200kPa (後)200kPa / 2 名乗車…(前)200kPa (後)225kPa です。
- タイヤの表面をチェックし、亀裂、損傷、異物、パンクがないことを確認してください。
- トレッドの深さが十分あるか (>0.8 mm) 確認してください。
- 電源を入れた状態で、機器にエラー警告灯が表示されているかどうか確認してください。
- バッテリー容量がツーリングに十分であるか確認してください。
- すべての灯火類が正しく機能するか確認してください。
- ホーンが正しく機能するか確認してください。
- ミラーがきれいであるか。それらを適切な角度に調整します。
- ブレーキオイルが十分であるか、ブレーキレバーとブレーキシステムが正しく機能しているか確認してください。
- ご不明な点がございましたら、お近くの販売店までお問い合わせください。

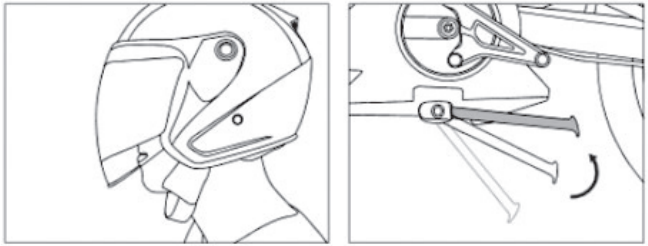
走行に関する項目

パワーオン

❶ リモコンのセキュリティ解除ボタンを押します。

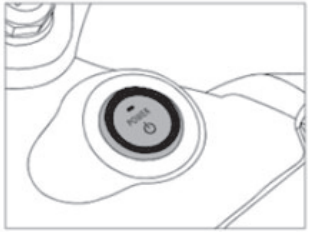


❷ ヘルメットを着用し、TC に乗車しサイドスタンドを上げます。

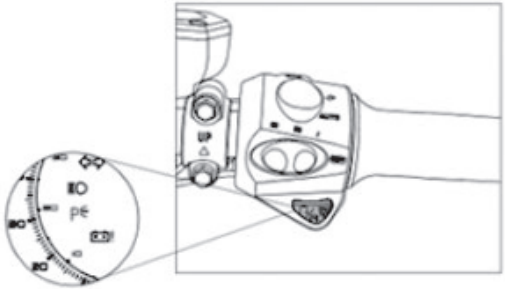


走行に関する項目

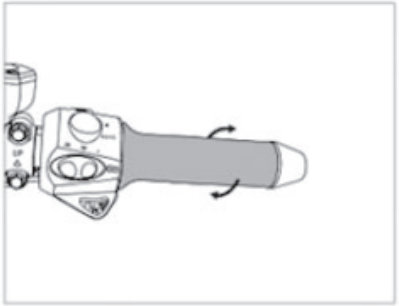
❸ ”POWER" ボタンを押し電源を入れます。



❹ メーター内の表示が“P" マークのままの場合、“パーキング” ボタンを押して解除します。



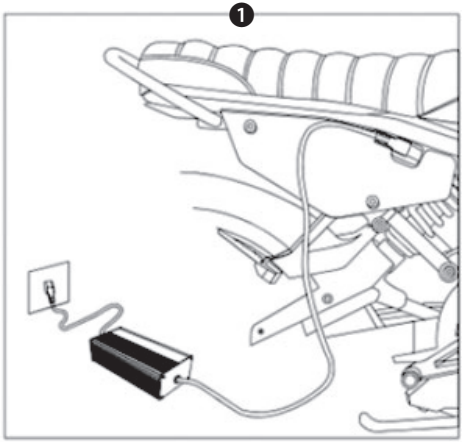
❺ アクセルを回すと走行を開始します。



・乗る前にサイドスタンドが上がっていることを確認してください。
・走行中にはパーキングボタンを押さないでください。
・オートバイに乗車姿勢のままスタンドを立てないでください。スタンドが外れ転倒することがあります。
・オートバイに何か異常な状況や、危険な状況が発生した場合は停車してください。

バッテリーに関する注意事項

01. 車載充電



❶ 充電器の充電コードをオートバイ右側面の充電ポートに接続する。

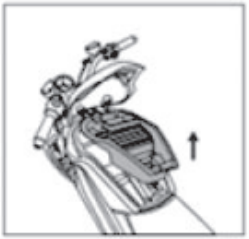
❷ 充電器の充電コードをコンセントに接続すると充電器本体のインジケーターが、最初はグリーンに点灯し、充電が始まるとレッドに切り替わります。

❸ 完全に充電されると充電器のインジケーターランプがグリーンに変わります。

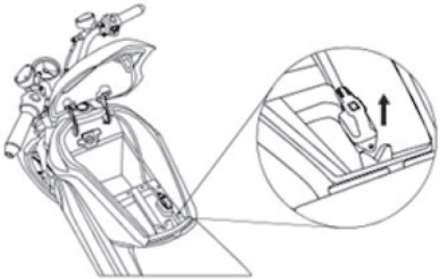
バッテリーに関する注意事項

02. 取り外し充電

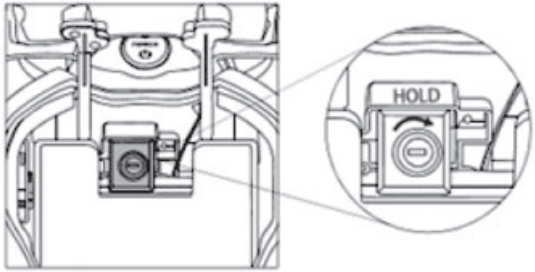
❶ ストレージを開き、インナーカバーを取り出す。

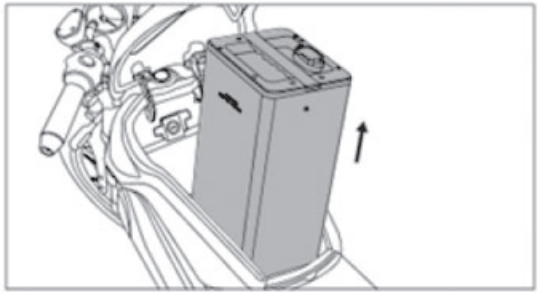


❷ サーキットブレーカーを OFF にします。
❸ 車体の電源コネクターを外します。



❹ バッテリーロックにキーを挿し、右に回したままバッテリーを持ち上げるとバイクからバッテリーパックを取り出すことができます。





バッテリーに関する注意事項

❹ 充電器をバッテリーに接続します。
次に、充電器を電源に接続し、充電器を作動させます。
充電器のグリーンランプが点灯しスタンバイ状態となりますが、バッテリー残量が少ないと、すぐにレッドランプに切り替わり充電が開始されます。
また、グリーンランプへ戻ったら充電完了です。

・バッテリーパックを水から離してください。
・充電温度：0 ～ 45℃、放電温度：−20 ～ 45℃
・使用後にバッテリーパックを充電する場合、オートバイを長時間使用しない場合は、バッテリーパックをオートバイから取り出さなければなりません。
・バッテリーパックの入力と出力を接続することはできません。
・バッテリーパックへの強い衝撃は禁止されています。
・バッテリーパックを充電するために、他の充電器を使用することはできません。指定された専用充電器を使用する必要があります。
・配送前にバッテリーパックは品質チェックを受けており、バッテリーパックを開封することはできません。
・ご不明な点がございましたら、お近くの販売店にお問い合わせください。

保管、メンテナンス、輸送の注意

・バッテリーを長期間使用しない場合は、バッテリー容量の半分を充電してください。(充電前に容量が 0%の場合) 乾燥した換気の良い場所に保管し、2 か月ごとに 2 時間充電してください。
・バッテリーと充電器は、清潔で乾燥した換気の良い場所に保管する必要があります。腐食性物質との接触を避け、熱源から離し保管してください。
・バッテリーの保管条件は、温度：-20～45℃、湿度≦65%RH 以下にしてください。
・保管するときは、充電器とバッテリーを接続しないようにしてください。

メンテナンス

定期的なメンテナンスは、TC の耐用年数と運転の安全性を向上させることができます。
以下の提案を参考にして、オートバイのメンテナンスをおこなってください。

日常の清掃とメンテナンス
きれいな水と中性洗剤を使用して清掃し、柔らかい布とスポンジを使用し表面を清掃してください。部品の表面を傷つけないように、金属ブラシ、サンドペーパーなどを使用して清掃することは禁止されています。清掃後は柔らかい布で拭きあげてください。

・クリーニング前にサーキットブレーカーをオフにしてください。
・強力なウォータージェットを使用して直接洗浄しないでください。水の浸入による機械部品の故障を回避するためです。

保管
部品の錆びを避け、日光と雨への露出を減らすために、乾燥した換気の良い場所に駐車してください。長期間使用しない場合は、サーキットブレーカーをオフにし、電源プラグを外し、過放電を防止してください。長期保管後は、十分に充電してからご使用ください。

定期的な点検とメンテナンス
新しいオートバイは、1,000 km または 1 か月（いずれか早い方）に達したときに、お近くの販売店で最初の点検とメンテナンスを行う必要があります。
オートバイは、2,500 km または 6 か月ごと（いずれか早い方）にお近くの販売店で定期的な点検とメンテナンスを行行う必要があります。

・すべてのサービスとメンテナンスはお近くの販売店で実施し、メーカーの純正部品を使用してください。
・ライダーが要求通りのバイク整備、およびメンテナンスに失敗した場合、XEAM は保証請求を拒否します。
・ライダーが許可なく車両を分解した場合、またはメーカー以外の部品を使用した場合、XEAM は保証請求があればこれを拒否します。

FAQ & トラブルシューティング

定期的なメンテナンスは、TC の耐用年数と運転の安全性を向上させることができます。
以下の提案を参考にして、オートバイのメンテナンスをしてください。

エラー事象	原因	対応
電源が入らない 起動しない	1. バッテリーの接続不良 2. サーキットブレーカーがオンになっていない	1. バッテリーの接続を確認する 2. サーキットブレーカーを ON にする
電源を入れ、スロットルを 回してもモーターが作動しない	1. バッテリー残量の低下 2. サイドスタンドが収納されていない 3. パーキングモードがON状態 4. ブレーキレバーが正しい位置に 固定されていない 5. スロットルエラー 6. コントローラプラグが緩んでいる 7. コントローラエラー	1. バッテリーの充電 2. サイドスタンドを収納する 3. パーキングモードを解除する 4. ブレーキレバーを正しい位置に戻す 5. スロットルの交換 6. コントローラの再接続 7. コントローラの交換
速度が遅い 走行距離が短い	1. バッテリー残量の低下 2. タイヤが異常に潰れている 3. 過負荷状態 4. ブレーキの引き摺りが有る 5. バッテリーの劣化または不良	1. バッテリーを充電する 2. タイヤに空気を入れ、乗る前にタイヤの空気圧 を確認する 3. 適切な負荷を保つ 4. 乗る前にブレーキパッドを交換し、ブレーキ システムを確認する 5. バッテリーを交換する
バッテリーが充電できない	1. 充電プラグの接触不良 2. 指定外の充電器を使用 3. バッテリーの劣化または不良	1. 充電プラグの接続状態を確認する 2. SOCO充電器を使用する 3. バッテリーを交換する

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
エラーコード 99	コントローラ通信エラー	MS ソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード 98	コントローラ停止（過電流、ブロッキング、低電圧、過熱など）	安全な場所に停車してもう一度起動する
エラーコード 97	コントローラ電源エラー	MS ソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード 96	コントローラホールセンサーエラー	MS ソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード 95	コントローラスロットルエラー	スロットルワイヤーの接続を確認する 交換は販売店で行う
エラーコード 94	バッテリー通信エラー	バッテリーコネクタの状態を確認する MS ソリューションズまたは販売店に連絡する 充電を停止し、充電器を確認する
エラーコード 93	過電流充電	充電を停止し、充電器を確認する
エラーコード 92	過電圧充電	充電を停止し、充電器を確認する

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
エラーコード 91	バッテリー高温	充電または乗車を停止し、 バッテリーの温度が下がってから再開する
エラーコード 90	過電流放電	常に 90 が表示される場合は、乗車を停止してしばらく待つ
エラーコード 89	低温での充電	バッテリーを取り出して、暖かい屋内の場所に移動し充電する
エラーコード 88	低温での放電	バッテリーとオートバイを屋内に保管し、しばらく待つ
エラーコード 87	インターネット接続エラー	オートバイを空き地に移動する MS ソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード 86	GPS 接続エラー	※日本未対応

基本仕様

製品名: TC (ティーシー)	最大出力 ： 1800Wh
クラス: 原付二種※AT限定普通二輪免許で乗車可能	バッテリー定格出力 ： 1000W
バッテリー ： リチウムイオン	航続距離 ： ≧110-120km(2バッテリー時)/≧55-60km(1バッテリー時)*2
モーター ： BOSCH製	最高速度 ： ≧75km/h
車体寸法 ： 1926×710×1100mm	乗車定員 ： 2名
車体重量 ： 約84.5kg*1	製造国 ： 中国
バッテリー重量 ： 約12.5kg×2	充電時間 ： 8h×2

＊1 ： バッテリー2個の場合の総重量となります。
＊2 ： 体重75kgのライダーが45km/h で定地走行した場合の数値となります。(バッテリー2個の場合)
＊各車両の航続距離は、お客様のご使用環境(気象条件・体重・勾配・運転方法・車両状態・装備など)によって、大きく変化致します。航続距離のカタログ値は参考数値としてお考え下さい。

問い合わせ

バイクについてのお問合せ・ご相談は取扱店にお気軽にご連絡ください。

取扱店

TEL

■ 製品について

技術的なお問合せ先：XEAM ショップ福岡篠栗

〒811-2405
福岡県糟屋郡篠栗町篠栗 3754-1
TEL：092-410-0427
受付時間：9:00 ～ 12:00/13:00 ～ 18:00（年中無休）
※年末年始は除く

■ 販売元について

企画開発元：株式会社 MS ソリューションズ

〒812-0038
福岡市博多区祇園町７番20号 博多祇園センタープレイス 9F
TEL:0120-15-8195
受付時間：11:00 ～ 19:30（平日）※年末年始は除く
FAX:092-262-7419　MAIL:info_xeam@mssjapan.jp

XEAM 公式ホームページ：https://www.xeam.jp/　｜　弊社公式ホームページ：https://www.mssjapan.jp/

保　証　書

製品保証について

保証書に記載の対象車両の保証部位に、材料上もしくは製造上の不具合等による故障が発生した場合、無償で修復させていただきます。なお、弊社の指示、承諾を得ずに改造等を行った車両については全て保証対象外とさせていただきます。
※一般的な使用用途外(レース場での使用等)についても保証対象外とさせていただきます。

保証対象部品…フレーム・フロントフォーク・スイングアーム・ホイール・リヤサスペンション・ブレーキ・ステアリング・電動機・コントローラー・走行用バッテリー・その他メーカーが定めた主要部品。

保証適用外の範囲…外装部品・シート・消耗部品（ブレーキパッド・ブレーキシュー・タイヤ・ゴム類・油脂類等・ブレーキディスク・電球類・ヒューズ等）・その他メーカーが定めた部品

車両の譲渡について詳しくは、WEB ページをご覧ください。https://www.xeam.jp/

1カ月点検について

新車登録または届け出をされてから 1 カ月を目安に行う点検です。この時期の点検は車両寿命に影響を与えることが多いことから、新車登録または届け出をされてから約 1 カ月（または 1000 ㎞時）の点検を弊社提携店舗にて実施いたします。直営店 (WEB 販売含む) にてご購入いただいた場合は無料にてお受けいたします。有効期間を過ぎますと、有料となります。（有効期間：新規登録もしくは届け出をしてから約 1 カ月もしくは有効期間内に走行距離が 1000 ㎞を超える場合は、1000 ㎞走行時となります。）

● 1 カ月の点検内容

- 電動機の低速及び加速の状態の点検
- リム及びホイールディスクの損傷の点検
- ブレーキの利き具合の点検
- ブレーキロッド及びケーブル類の緩み、がた、損傷等の点検
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- ブレーキホース及びパイプの液漏れ、損傷、取り付け状況の点検

定期点検について

2007 年 4 月 1 日より『道路運送車両法』の改正等により、2007 年 4 月 1 日以降の新車登録車より、以下の内容での定期点検内容に変更となりました。
- 6 カ月点検の廃止
- 走行距離加味点検とシビアコンディション点検の設定

点検の種類について

● 日常点検

法律に準じてユーザー様自身で日々の車両の状況、状態に応じてユーザー様自らが適宜行う点検です。走行前、充電前、洗車前等に行ってください。
- ブレーキ（前後）レバー（ペダル）の遊び、きき具合
- ブレーキ液の量（前）
- 灯火装置および方向指示器
- 低速・加速の状態
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- 運行において異状が認められた箇所

● シビアコンディション点検

通常使用より過酷な状況で車両を使用した場合、部品の劣化や破損等が通常より早く進行してしまうケースがございます。それを早期に発見するために整備士が 6 カ月ごとに行う点検のことをさします。シビアコンディションの目安、状況については以下の通りです。
- 坂道や山道の走行が全走行の30%以上を占めている。またそれに伴うブレーキの使用が多い。
- 走行距離が半年で 3000 ㎞以上である。
- 未舗装路や凸凹道の走行が全走行の 30%以上を占めている。

※整備点検等でご不明な点は販売店、取次店にご相談ください。

保証有効期間について

☑ **店舗でご購入**　：登録日から 1 年 or 5,000km 走行時
☑ **弊社 HP でご購入**　：出荷日から 1 年 or 5,000km 走行時
※年数、km は早く到達した方を適用

ご購入日　　年　　月　　日

氏名　　様　TEL　　-　　-

〒

住所

登録番号

車名　　車台番号

メンテナンス スケジュール

コンポーネント	作業内容	1,000km または 1ヶ月 (いずれか早い方)	2,500km または 6ヶ月 (いずれか早い方)	5,000km または 1年 (いずれか早い方)	7,500km または1年半 (いずれか早い方)	10,000km または2年 (いずれか早い方)
全般	I	✓	✓	✓	✓	✓
ステアリング、操作系	I / E	✓		✓		✓
ステアリングベアリング	I / C / L	✓		✓		✓
電気系統	I	✓	✓	✓	✓	✓
ライト、スイッチ	I / E	✓	✓	✓	✓	✓
サーキットブレーカー	I	✓	✓	✓	✓	✓
ホイールベアリング	I / E			✓		✓
ホイール、リム	I	✓	✓	✓	✓	✓
タイヤ	I*			✓		✓
ブレーキ全般	I / C / E	✓		✓		✓
ブレーキオイル	E					✓
フロントフォーク	I	✓		✓		✓
リヤショックアブソーバー	I	✓		✓		✓
スロットル	I / L			✓		✓
メイン/サイドスタンド	I / C / E	✓		✓		✓

I … Control (点検)　E … 交換　C … 清掃　L … 給油　*Check : 溝深さ / 空気圧

【 Controlについて 】

機能が正しいか確認してください。清掃や給油の指示があれば追加で行わなければなりません。エラーや欠陥が検出された場合は、修復する必要があります。

※運行前点検は上記の表に関わらず行う必要があります。

メンテナンス レコード

日付	年　　月　　日	走行距離	
ノート			
販売店			

1ヶ月点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

●参照事項
※1 各変速モードで作動させ、うなり音等の異音の有無を確認お願いいたします。
※2 ステム緩み止めナットの状態確認要。
※3 タイヤ溝深さを確認。
※4 タイヤ規定空気圧→1名乗車…（前）200kPa／（後）200kPa
2名乗車…（前）200kPa／（後）225kPa

電動機点検

■ 本体

- [ ] 電動機の作動状態・異音の有無※1
- [ ] ／ 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- [ ] 操作具合

■ フロントフォーク

- [ ] 損傷
- [ ] ステアリングステムの取付状態※2
- [ ] ／ ステアリングステムの軸受け部のがた

電気・保安装置点検

■ 走行用バッテリー

- [ ] 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ スイッチ類

- [ ] 灯火装置・方向指示器の作用
- [ ] ホーン・ハンドルロック装置の作用
- [ ] 計器の作用

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- [ ] 遊び
- [ ] ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- [ ] 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- [ ] 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク（フロントブレーキ）

- [ ] ブレーキ液の量

足回り点検

■ ホイール

- [ ] タイヤの空気圧※3
- [ ] タイヤの亀裂・損傷の有無
- [ ] タイヤの溝の深さ・異常な磨耗※4
- [ ] ホイールのボルト・ナットの緩み

■ ショックアブソーバー

- [ ] 損傷・オイル漏れの有無

その他

- [ ] 外観樹脂パーツの損傷の有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品／記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

XEAM

ELECTRIC MOBILITY